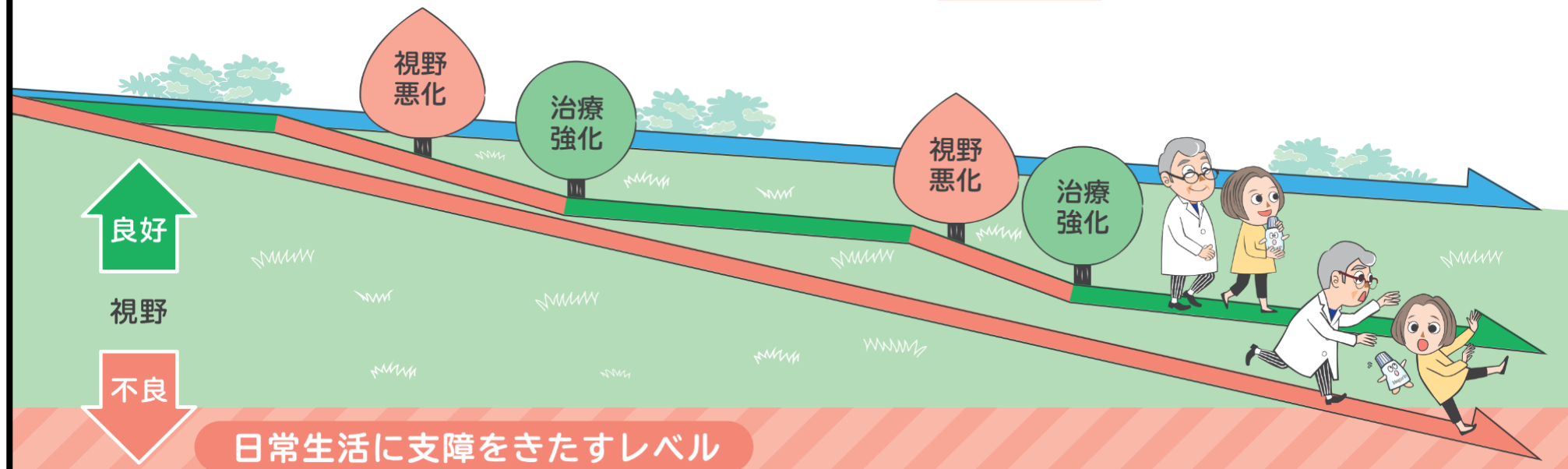
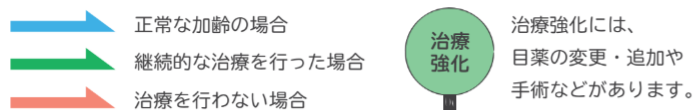


08 大切なのは 治療を継続すること

緑内障は自覚症状にとぼしく、ゆっくりと悪くなっていく病気なので、点眼治療を続けていても、薬が効いているという実感がほとんどないことが特徴です。点眼治療をやめても、どこかが痛くなるわけでも、すぐに眼が見えなくなるわけでもないため、決められた点眼方法を守らなかつたり、点眼を途中で止めてしまう方も多くいらっしゃいます。



また、点眼前には何の症状もなかったのに、点眼によって充血したり、色々な副作用が出ることがあります。主治医と相談しながら使用可能なお薬で治療を継続することが大切です。

治療を継続すれば進行を遅くすることができますが、決められた通りに治療を行わないと、日常生活に大きく支障がでるほど視野が欠けることもあります。

あなたの眼がずっと見えている、よい状態であるために正しい治療を続けて緑内障と上手につき合っていくことが何よりも大切です。